

第25回滋賀県首長会議テーマ一覧

提案団体	整理番号、テーマ名およびテーマの趣旨（概要）
①新型コロナウイルス感染症の全数把握と出口について	
湖南市	<p>新型コロナウイルス感染症により、医療体制は依然としてひっ迫する中、政府は保健所等の事務負担軽減を図るため、感染者の全数把握の見直しを打ち出され、9月には宮城・茨城・鳥取・佐賀県において、報告の対象を高齢者や重症化リスクの高い人に限定するなど、全数把握の見直しを進め始めている自治体もある。</p> <p>滋賀県においてはこの全数把握について、業務の簡略化を進めながらも当面は維持していくと明言されている。本市では今年、「ウイズコロナ」への第一歩として、3年ぶりの夏まつりの開催をはじめ、感染対策と社会経済活動の両立を進めているところである。感染者の全数把握や社会経済活動を進めるにあたっての事業やイベント開催の判断基準等について、県や市町の考えを伺うともに、「コロナ禍からの出口」を見出したい。</p>
②中小企業活性化施策の総括・検証等について	
滋賀県	<p>中小企業の活性化については、平成25年に施行した「滋賀県中小企業の活性化の推進に関する条例」において、第4条第3項に「県は、中小企業の活性化に市町が果たす役割の重要性に鑑み、市町が中小企業活性化施策を策定し、および実施しようとするときは、必要な情報の提供、助言、支援または調整を行うものとする」と定めており、これまで情報共有、意見交換会等を随時実施してきたが、今後も、市町と県が連携して全県的に中小企業を盛り上げていくことが必要と考えている。</p> <p>まもなく本条例が施行10年を迎えるにあたり、これまでの取組の効果を見極めるとともに、社会情勢や中小企業が抱える課題等の変化を捉えた上で、世界を見据えたより大きな視点や、さらに10年後の2030年代を見据えたより長期的な視点により総括・検証を進めることとし、本年3月に滋賀県中小企業活性化審議会への諮問を行い、今年度は10年間の施策の総括を行ってきたところ。</p> <p>条例施行後10年間に実施してきた中小企業活性化施策により、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水環境ビジネスや医工連携、海外展開など将来の成長発展が期待される分野の取組の進展 ・商工会・商工会議所等による経営指導や制度融資の活用促進、事業承継や創業支援による中小企業や小規模事業者の経営支援 ・県内への新規立地や再投資等の促進、地場産業・地場産品の魅力発信、「ここ滋賀」開設やピワイチ推進をはじめとする観光振興等の成果を挙げてきたが、10年間の環境変化の中で、中小企業の経営課題を捉えた更なる支援や、脱炭素・CO2ネットゼロ、デジタル化、DX、危機管理といった新たな課題に対応していくための支援施策が求められていると認識している。 <p>この総括においては、中小企業や支援機関の現場からの声や、市町等のご意見を広く伺うことを大切にしたいと考えており、中小企業へのアンケート調査や職員による企業訪問も実施しながら、中間報告を取りまとめているところ。</p> <p>そこで、今後の中小企業支援の在り方等について、意見交換を行いたい。 ご意見については、今後の施策の検討に活用するとともに、市町と県の更なる連携強化により、効果的な中小企業支援施策の展開に生かしてまいりたい。</p>